

相手の靴をはく

『相手の靴をはく』という言葉を知りました。元々、イギリスの^{ことわざ}諺で、「相手の立場になって物事を考える」という意味です。皆さん一度、相手の靴をはいてみることを想像してみましょう。サイズは合わないし、しっくりこないでしょうね。でも、相手が「なぜその様な行動をとったのか」「なぜその様なことを言ったのか」を相手の身になって考え、相手のことを五感で感じると、相手の行動、言動が自分なりに理解できるのではないのでしょうか。そのことによって、相手とのよりよき人間関係が出来ると思います。経営理念の「よき仲間づくり」とは自分のことは勘定にいれず、他人の幸せのために努力できる“自分づくり”でもあるのです。

《安心、安全のよき仲間づくり》